

1. 科目名 (単位数)	音楽Ⅱ (小) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL1305 EDEL2305
2. 授業担当教員	高木 麻衣子		
4. 授業形態	演習 (個人、全員、グループ)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	「音楽 (小)」の発展として、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得し、創造的な音楽教育を実践する能力の育成を目指す。実際には、諸外国の音楽教育の動向を視野に入れながら様々な角度から表現を捉え、声や身体の動きや楽器を媒体として表現を行う方法と、子どもの中にある音楽を引き出す方法を学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や打楽器やリコーダーによる「アンサンブル」ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 音楽の基礎理論 (楽典) の理解ができる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>ピアノ実技：毎回課題曲を提示するので、次回の対面授業までに弾けるよう練習してくること。</p> <p>グループ活動：お互いに協力し合い、練習をして発表に臨むこと。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】1年生の時に使用していた 阪井恵、有本真紀他著『教員養成課程小学校音楽科教育法』教育芸術社 もしくは、 初等科音楽教育研究会編『最新 初等科音楽教育法[改訂版]』音楽之友社</p> <p>【参考書】石丸由理監修 佐藤千賀子編著『合奏楽譜百科』ひかりのくに。</p> <p>【教材】五線ノート等、必要な時に配布・添付します。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 音楽の基礎理論 (楽典) を理解し、説明できるか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の 40% 2. 実技発表 総合点の 40% 3. 音楽理論の理解 総合点の 20% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>オンライン授業が想定されますが、キーボードの練習方法について (紙鍵盤を含む) 鍵盤ハーモニカ・ピアノその他が映せるように工夫してあればアドバイス可能です。この科目では、ピアノの演奏技術習得のみならず、「弾き歌い」をはじめとするピアノを用いた音楽活動を展開していきます。また、グループ活動では一人ひとりの意識が作品に大きな影響を及ぼします。集団でしか味わえない音楽の素晴らしさを体験しましょう。</p>		
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	音楽の最終授業で取り組んだ曲を練習しておく。
		事後学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第2回	ピアノ弾き歌い 音楽理論について	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	各自の目標及び各自のレベルに応じた課題曲を練習する。 授業で学習した音楽理論の復習をする。
第3回	ピアノ弾き歌い 音楽づくり・楽器作り	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	各自の目標及び各自のレベルに応じた課題曲を練習 (ピアノを弾くだけでなく、同時に歌も歌えるようによく練習してくること) する。 簡単な楽器の作り方を復習する。
第4回	ピアノ弾き歌い リズムカードづくり	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」点にも注意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 作成したリズムカードをよく確認し、全てのリズムを叩けるようにする。
第5回	ピアノ弾き歌い グループアンサンブル活動① (器楽)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」点にも注意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲

			を練習する。 グループ活動における個人練習。
第6回	ピアノ弾き歌い グループアンサンブル活動②（器楽）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第7回	ピアノ弾き歌い 鑑賞の学習①	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。鑑賞で学習した曲目を復習する。
第8回	ピアノ弾き歌い 鑑賞の学習②	事前学習	ピアノ実技発表にむけて、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」「表現する」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 鑑賞で学習した曲目を復習する。
第9回	ピアノ弾き歌い 世界の音楽について	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」「表現する」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。世界の音楽について復習をする。
第10回	ピアノ弾き歌い 身体表現と音楽の実践	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習してくる。
		事後学習	「歌う」「表現する」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 身体表現と音楽の復習
第11回	ピアノ弾き歌い 歌・合唱について①	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」「表現する」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 歌の復習をする。
第12回	ピアノ弾き歌い 歌・合唱について②	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」「表現する」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 歌の復習をする。
第13回	ピアノ弾き歌い 調と伴奏付け①	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「歌う」「表現する」点にも留意しながら、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 調と伴奏付けについて復習する。
第14回	ピアノ弾き歌い 調と伴奏付け②	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	ピアノ実技発表にむけて、各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。 調と伴奏付けについて復習する。
第15回	期末のまとめ	事前学習	今まで学習した音楽理論や授業内容を確認しておく。
		事後学習	ピアノ実技の復習、またこれまでの音楽活動の振り返り